



発行者

千葉県生涯大学校卒業生学習会 会長 本多靖男

学習会会員歓迎の挨拶・・・松村副会長  
 クラブ紹介  
 ハイキングクラブ・・・木村由美子  
 旅行クラブ・・・土岐禎  
 海外 (BonVoyage)・・・石垣嘉雄  
 美術鑑賞クラブ報告・・・石橋進  
 時間確認  
 2019年度学習会予定

## 学習会会員歓迎の挨拶

千葉県生涯大学校卒業生学習会副会長 松村 靖

平成31年度の会員は総計1,280名の方が会員となりました。(継続会員1,150名、新入会員130名です。)

本学習会に加入頂きまことにありがとうございます。

本学習会は一昨年に創立30周年の節目を迎え、その際、開講式と同時に記念式典を挙行了したところであり伝統のある歴史を一步、一步着実に歩んでいます。

学習会に加入する目的はそれぞれ人により異なると思いますが皆さんに共通していることは強い学習意欲をお持ちの方であることと推察致します。

先般、作家五木寛之氏(S7生,86歳)著書「生きる事はおもしろい」を読んでいて成程な、と気づいたことがあり引用してみました。以下は私(松村)の推測で

「人間として吸収すべきことを食に例えて」引用

最近、自分でも驚くほど少食になった。以前から食事については、次のようなことを言ってきたのだから当然かもしれない。よく「腹八分」と言う。

それに関しての勝手な意見である。

十代では「腹十分」でいい。のび盛りの若い間は腹一杯、食べるべきだと思う。それをちゃんと消化するエネルギーもあるはずだ。

二十代に入ると「腹九分」。三十代に入っていわゆる「腹八分」となる。

この時期は、元気にまかせて暴飲暴食に走り勝ちだがそこをちゃんとコントロールする。四十代、まだまだ元気いっぱい年代である。少し抑えて「腹七分」

五十代となれば体調も乱れがちだ。

健康法の本を読み漁る、ここは我慢「腹六分」に止どめる。

六十代はひと山越えた年ごろである。それほどエネルギーも必要はしない。そこで「腹五分」にとどめる。

要する食事を半分にコントロールする1日2食か1食半

七十代は「腹四分」を覚悟する。朝は1杯のジュースでもよい。夜は大食いしない。

八十歳からは十年「腹三分」でどうか。1日1食といったところか。一日三食をきちんと決まった時刻に食べるのが健康のコツ等と多くの先生がたが仰るが人間は年齢とともに変化する存在だ。20代と80代を一緒にしてはいけない。具合が悪ければ修正しよう。(以上で引用は終わり)

知識・情報とのふれ合い・吸収とも同様なことが言えるのではないのでしょうか。

学習会での講演等からの知識・情報の吸収も感性を磨くことも年相応でよいのではないか。人生をムリせず歩みたいものです。

会員の皆様が生涯大卒業生学習会へ参加して自分にとってより好ましい方法で活用して頂ければと願うものです。

## クラブ紹介

仲間づくり、健康づくりには是非 入会され、楽しい時間をお過ごしください

### ハイキングクラブ

会長 木村由美子

私達のハイキングクラブは心身とともに益々元気になる事を目的として12年前に諸先輩が設立し、今日に到っております。平成30年度の会員数は103名、多くの方が会員となっています。

クラブの活動内容は歩く事を楽しみに集まった仲間との親睦を図るためバスによるハイキングを2回、現地集合を2回、年間4回実施しています。

行先は会員からの希望などにより、計画して、安心、安全、会員ファーストにより「楽しく」を加え、役員が、事前に現地の下見を行いコースを確認しております。素晴らしい自然の中を歩いて健康づくり、仲間づくりをしております。

一緒に楽しみませんか？ ハイキングクラブへの入会をお待ちしております。同時に役員も募集しております。

入会年会費は1000円(傷害保険含む)

バスハイクは別途参加費が必要です。

### 2019年度ハイキングクラブ 活動予定

6月 水元公園(京成又はJR金町駅 現地集合) 9月 青木ヶ原樹海 遊歩道(バス利用)

11月 鎌倉祇園コース JR鎌倉駅集合 2020年2月 秩父 蠟梅を愛でる宝登山(バス利用)

是非 一緒に 行きましょう!

**旅行クラブ**

会長 土岐 禎

現在、会員数は66名で、内訳は男性26名、女性40名です。

旅行は日帰りを2回、1泊2日を1回の計3回実施しています。

参加人数は毎回40名程度なので、45名定員のサロンバスを利用しています。バスは千葉駅前から出発します。入会申込みの要領は下記のとおりです。

1. 募集人員 100名(継続会員及び新規会員)
  2. 会費 年会費 1,000円/人(継続会員、新規会員とも)
  3. 参加費用 旅行実施の都度、参加者は旅行必要経費を負担
  4. 募集受付日 4,5月の学習会の日 学習会の日に「旅行クラブ受付窓口」までおいで下さい。
  5. 連絡先 土岐 禎 いすみ市岬町三門1,271 TEL0470-87-3301 携帯 090-7170-3972
- 2019年度の旅行予定(案)は下記のとおりです。詳細は別途ご案内いたします。

2019年5月9日(木) あしかがフラワーパーク、足利学校、栗田美術館

2019年10月10日(木)～11日(金) 五浦六角堂、塩屋崎、五浦温泉泊

2020年3月30日(月) カタクリ公園(栃木県那須郡那珂川町三輪)

平成30年11月29日(木)～30日(金)に、静岡県の日平・久能山東照宮・三保の松原・駿河湾フェリーを巡る1泊2日のバス旅行に行ってきました。参加者は男性17名、女性13名の合計30名でした。このコースは2013年6月にユネスコの世界文化遺産「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」に登録された観光地です。天候が安定して、富士山がきれいに見えることから冬のこの時期にしました。

1日目は久能山東照宮を見学しました。標高307mの日平からロープウェイで下った所にあり、徳川家康の遺体が一時期葬られた場所です。宿泊は全室オーシャンビューで、価額も手頃な「かんぽの宿」でした。

宴会は芸達者の方々の協力で、唄有り、踊り有りの楽しい時間を過ごすことができました。2日目は先ず「三保の松原」を訪れました。海岸へは、大通りから約500mの間、一直線の巨木の松並木「神の道」を通って行きます。

総延長7kmに3万699本もの松が生い茂る「三保の松原」は、ほとんどが樹齢100年を超すと思われる大木で、中には幹周3mを超える巨木もあり、有名な「羽衣の松」は三代目で樹齢200年ほどの大木でした。深い砂に足をとられながら海岸に出ると、駿河湾を挟んで遠くにきれいな富士山が望めました。ここで集合写真をパチリ。

その後、清水港へ。駿河湾フェリーは清水港から土肥港まで、約30kmを1時間10分の航路でした。海は穏やかで、船上からの富士山の展望も素晴らしく、ゆったりとした時間を過ごすことができました。

この航路は経営難から31年3月末で運行廃止が決まっているそうで、焼き鳥を焼いているお姉さんにそのことを聞くと、「廃止になったらどこか仕事を探さなくちゃー。でも、周辺自治体の応援で廃止にならないという話も？」と、不安げでした。観光と言う華やかな裏にある厳しい現実。複雑な思いの中、船は無事に土肥港に着きました。

**海外「Bon Voyage」クラブ**

部長 石垣 嘉雄

海外「Bon Voyage」クラブも発足5年目を迎えることができました。会員各位の協力により、クラブ名のとおり毎回の旅が和気あいあいの事故もない「よい旅」でした。

海外旅行には行きたいが同行者がいない、夫・妻とでは？と思われている方達には朗報ですよ・・・何故って・・・同窓生の旅だからです。いつも和気あいあいで、今まで知らなかった他校の同窓生とも仲良くなれます。

クラブの旅行は観光だけではなく、現地での施設訪問、同年代・世代間交流等など実施できる範囲で実施しています。

旅行先は年末の忘年会席上で会員の意見から決定しています。高齢者と年金生活者の多い会員のクラブですから、短期間の日程で、旅行費用も手頃な旅を企画しています。春から夏、秋から冬の年2回を予定しています。

新規に学習会に入会された会員の皆様には、新たな門出になり、新しい発見があるでしょう。海外の旅をする事により日本の事もよく分かるようになります。

皆様の入会をクラブ員一同お待ちしております。(新規会員の受付は4月・5月です。)



マカオ 聖ポール教会



バリ島の子供たち

**美術鑑賞クラブ**

代表 石橋 進

美術鑑賞クラブをご紹介します。

クラブは平成19年創部以来、首都圏の美術館巡りを年6回開催しています。

今迄の活動記録は、学習会創立30周年記念誌に年代別、鑑賞美術館別に掲載しておりますが、今回は昨年と今年の実績、今後の鑑賞予定を記載しました。会の目的は、美術鑑賞を通じて会員相互の協力と親睦を図ることですが、特に絵画は感じさせられる作品が多くあり、過去の鑑賞記録は好企画展が目白押しなので、今後の計画についても、時節に沿ったものをとクラブ役員共々探求してゆきたい考えであります。

現在の会員数は、65名（女：46名・男19名）の状況であります。下記に依り新規会員と継続会員を募集しています。

**新会員と継続会員 募集要項**

【1】募集受付窓口は開校式当日と学習会当日、当クラブで行います。

（入会申込書を記入の上、年会費を添えて申込みください）

【2】鑑賞会は会則に依り、定期的に年/6回開催、奇数月の原則第2火曜日に開催します。

【3】行先、集合場所、時間は。

（首都圏内、千葉駅ホーム9：00頃集合～15：00頃現地解散）

【4】今迄の活動状況と今後の計画資料は受付で。

【5】年会費 ¥1,000.- （入館料は団体扱い、交通費は各自で、傷害保険は未加入です）

皆様の入会をお待ちいたします。目の保養とグルメに、楽しい外出になります！



**美術鑑賞クラブ・美術館別 鑑賞記録（平成31年度(2019)1月～）**

NO	館名	実施日	企画・催事展
	東京都美術館	2019/1/8	エドヴァルド・ムンク展「叫び」
	三井記念美術館	2019/3/5	三井家雛飾り展
	(予定)ポーラ美術館 箱根	2019/5/14	印象派、記憶への旅 ひろしま美術館共同企画（バス旅）
	(予定)竹久夢二美術館	2019/6/5	竹久夢二という生き方
	(予定)Bunkamura	2019/9/10	みんなのムコシャ展 線の魔術
	(予定)上野の森美術館	2019/11/5	蘭 フィンセント・ファン・ゴッホ展
	(予定)江戸東京博物館	2020/1/14	大浮世絵展 人気絵師名5名 歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 相撲
	(予定)国立西洋美術館	2020//03/10	英国 ロンドン・ナショナルギャラリー所蔵60点 本邦初公開

**学習会 時間割の確認**

本年度の時間割が下記のように変更されています。

**受付時間** 9時40分(原則) 入場は受付をしてから入場となります。(会員証をQRコードリーダーに通してから)

・但し 第一講座が音楽、芸能等でレハーサルのある場合は、リハーサル、会場準備の終了後の入場となります。

**着席** 10時45分 (携帯、スマートフォン等は電源を切るか、マナーモードに設定してください。)

**第一講座** 11時00分～12時30分 (90分)

**昼休み** 12時30分～13時30分 (60分)

**第二講座** 13時30分から15時00分 (90分)

2019年度の学習会 予定表

2019年度学習計画(案)		会場:千葉市民会館大ホール
月日	第1講座(10:50~12:30)	第2講座(13:30~15:00)
4/16	2019年度開講式・定期総会(12:15~15:20)	
(火)	*開講式 (12:15~12:45)	*オリエンテーション他 (14:15~14:25)
	*定期総会 (12:50~14:15)	*アトラクション (14:30~15:20)
5/21	「津軽三味線・民謡に触れて」	「人生100年時代を生きる腸寿食」
(火)	津軽三味線 土生みさお先生	東京医科歯科大学名誉教授 藤田紘一郎先生
6/18	「1つ1つが面白い 430の日本の島めぐり」 「東京湾の人工島」 写真家・エッセイスト	「米中経済戦争と日中関係」
(火)	加藤庸二先生	横浜市立大学名誉教授 矢吹晋先生
7/16	「オリンピックと都市」	「未来の年表～人口減少日本で起きること」
(火)	元東京都副知事 明治大学公共政策大学院教授 青山 侑先生	『未来の年表』著者 ジャーナリスト 河合雅司先生
9/17	「ジャズを中心にしましたライブコンサート」	「一歩先ゆく介護」
(火)	～ザ・フォースアベニューオーケストラによるコンサート～ The Fourth Avenue Big Sounds Orchestra バンドマスター 児玉好廣先生	植草学園短期大学福祉学科 教授 布施千草先生
10/15	「もったいないをありがとうへ ～フードバンクちばの取り組み」	「スポーツビジネスのいまとこれから」
(火)	フードバンクちば 代表 ワーカーズコープちば専務理事 菊地 謙先生	江戸川大学教授・博士(スポーツ科学) 史上3人目の東大卒プロ野球選手 小林至先生
11/20	「南極と南極観測について」	「誇りある国づくり」 ～二宮尊徳から学ぶ豊かなひとづくり・地域づくり～
(水)	公益財団法人 極地研究振興会理事 南極OB会副会長 松原廣司先生	国際二宮尊徳思想学会常務理事 リレート代表 中桐万里子先生
12/17	「21世紀はユーモア時代」 ～笑う門に福来たる～	「新聞記者 司馬遼太郎～国民作家の原点～」
(火)	ユーモアスピーチコンサルタント 日本笑い学会会員 若林一声先生	産経新聞特別記者兼論説委員 鹿間孝一先生
2020年	「松野迅 ヴァイオリンコンサート」	「ドローンの現状と今後」
1/21	ヴァイオリン 松野 迅 先生	一般社団法人 日本ドローンコンソーシアム会長
(火)	ピアノ 榎田まさし先生	千葉大学名誉教授 野波健蔵先生
2/18	第1部「クラシックの枠を超えたクロスオーバー」 第2部「日本のうた～愛され続けるメロディー～」	「死者の声が人を守る～法医学の真実とは～」
(火)	クラシカル・クロスオーバー歌手 岩田悠先生	千葉大学大学院医学研究院法医学教室 教授 岩瀬 博太郎先生
3/24	「古事記の謎をひもとく」	「房総半島の先端から列島史を考える」 ～安房の原始・古代を掘り起こす～
(火)	國學院大學文学部教授 古事記学センター長 谷口雅博先生	千葉大学名誉教授 岡本東三先生

\* 校外研修は、2019年10月と2020年3月に実施の予定です。